

2026 年 8 月 5 日
三菱製鋼株式会社

三菱長崎機工、UACJ 向け大型リングローリングミルを受注
―宇宙関連分野向け、最大径 5m 超のリング材製造設備―

三菱製鋼グループの機器装置事業を担う三菱長崎機工株式会社（本社：長崎県長崎市、代表取締役社長執行役員：空閑哲雄、以下「三菱長崎機工」）はこのたび、アルミ製品大手の株式会社 UACJ（本社：東京都港区、代表取締役：田中信二、以下「UACJ」）より、ロケットなどに使用される大型リング材の製造設備として、大型リングローリングミル（リング圧延機）および鍛造プレス一式を受注しました。

本設備は、国内最大仕様となる最大径 5m 超のリング材生産に対応するもので、UACJ では 2029 年中の稼働開始を予定しています。三菱長崎機工は、設計・製造から据付・組立までを一貫して担うことで、設備立上げの円滑化および稼働後の安定運用に貢献します。

本件受注の背景には、三菱長崎機工が 5m 超級に対応するリングローリングミルを製造できる国内唯一の企業であることに加え、顧客要求に応じて設計段階から最適化を行うエンジニアリング力ならびに、それを支える高い品質管理体制があります。長年にわたり培ってきた大型設備の加工技術とノウハウを活かし、UACJ の生産性向上と品質安定に寄与してまいります。

また本件は、設備導入にとどまらず、日本の宇宙産業の発展を支える取り組みとしての側面も有しています。UACJ による当該設備の導入は、宇宙航空研究開発機構（本社：東京都調布市、理事長：山川宏、通称「JAXA」）の公募テーマである「高頻度打上げに資するロケット製造プロセスの刷新」に採択された取り組みの一環として進められるものです。アルミ材加工メーカーである UACJ と、総合エンジニアリングメーカーである三菱長崎機工が連携を深めることで、宇宙関連分野における国内サプライチェーンの強靱化につなげてまいります。

三菱長崎機工が製造するリングローリングミルをはじめとする鍛圧機械は、宇宙関連分野に加え、日本政府が注力する戦略分野であるエネルギー分野（洋上風力）や航空・宇宙分野の関連製品にも対応しています。また同社は、航空・宇宙分野向け品質マネジメントシステム規格である JIS Q 9100 の認証を取得しており、今後も同分野での受注拡大を積極的に進めてまいります。



リングローリングミル

(参考) 三菱長崎機工株式会社の概要

三菱長崎機工株式会社は、1975 年の創業以来、機械設計から製造、据付・組立工事まで一貫したサービスを提供する総合エンジニアリング企業です。圧力容器、鉄構造物や鍛圧機械を中心に、火力・原子力・洋上風力といったエネルギー関連分野や水素・アンモニア関連、化学メーカー向けなど、多岐にわたる鉄構品・産業機械を手掛けております。今回採用された宇宙関連分野や、参入を目指している航空機分野をはじめとして、同社の技術力を生かし、新たな分野への事業拡大も積極的に図っております。

同社の詳細は <https://www.mnm.co.jp/index.html> をご覧ください。

(1) 名称	三菱長崎機工株式会社
(2) 所在地	長崎県長崎市深堀町1丁目2番地1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長執行役員 空閑哲雄
(4) 事業内容	産業機械・鉄構品の開発・製造・販売
(5) 資本金	9 億円
(6) 設立年月日	1975 年 1 月

<本件に関するお問い合わせ>

広報・IR 部 03-3536-3118